

第 1 回館山市議会定例会会議録

(第 3 号)

1 平成3年3月11日(月曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1番 脇田 安保	2番 永井 龍平
3番 田沢 勝信	4番 庄司二三男
5番 岩村 勝弘	6番 山崎 雅己
7番 生稻 陞	8番 鈴木 勝美
9番 山口 康雄	10番 鈴木 忠夫
11番 神田 守隆	12番 榎本 春光
13番 山中金治郎	14番 小宮 利夫
15番 横溝 功	16番 石井 昌治
17番 石井 謀	18番 日下 君敏
19番 川名 正二	20番 福原 勤
22番 黒川 平治	23番 流山源次郎
26番 近藤 好雄	27番 林 豊
28番 飯田 義男	

1 欠席議員 1名

25番 渡辺 昭夫

1 出席説明員

市長 庄司 厚
収入役 渡辺 弘
総務部長 二通 英雄
経済部長 安西 良一
教育委員会 山田 教和
委員長
選挙管理委員会 加藤 利
委員長

助役 小幡 清之
市長公室長 錦織 茂
民生部長 佐藤 澄雄
水道課長 鈴木 信一
教育委員会 福原 修
教育長
選挙管理委員会 庄司 徹
事務局書記長

1 出席事務局職員

事務局長 川上 義雄

事務局長補佐 兵藤 恭一

書 記 鈴木 哲
書 記 加藤 浩一

書 記 鈴木 修一

1 議事日程（第3号）

平成3年3月11日午前10時開議

日程第1 議案第 8号 平成2年度館山市一般会計補正予算（第4号）

の専決処分の承認について

議案第 9号 館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

議案第10号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第11号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第12号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第13号 館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

日程第2

議案第14号 財産の無償譲渡について

議案第15号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第16号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第17号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

議案第18号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第19号 市道路線の認定、廃止及び変更について

議案第20号 平成2年度館山市一般会計補正予算（第5号）

議案第21号 平成2年度館山市国民健康保険特別会計補正予

日程第3 { 算(第3号)

議案第22号 平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算
(第2号)

日程第4 請願第32号 朝鮮民主主義人民共和国との早期国交樹立促進
方要望に関する請願書

開 議 午前10時03分

◎副議長(近藤好雄君) 本日の出席議員数24名、これより第1回市議会定
例会第3日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎副議長(近藤好雄君) 日程第1、議案第8号平成2年度館山市一般会計
補正予算(第4号)の専決処分の承認についてを議題といたします。

質 疑 応 答

◎副議長(近藤好雄君) これより質疑を行います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結い
たします。

委員会付託の省略

◎副議長(近藤好雄君) お諮りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議
ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎副議長(近藤好雄君) 御異議なしと認めます。よって、本案については
委員会の付託を省略することに決しました。

討 論

◎副議長（近藤好雄君） これより討論を行います。

討論ありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

採 決

◎副議長（近藤好雄君） これより採決いたします。

本案を承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（近藤好雄君） 御異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決しました。

議案の上程

◎副議長（近藤好雄君） 日程第2、議案第9号乃至議案第19号の各議案を一括して議題といたします。

質 疑 応 答

◎副議長（近藤好雄君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君） 議案第10号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてお尋ねをいたします。

私たち議員の報酬を「31万 6,000円」から「32万 7,000円」に引き上げようとするものでありますが、この案については報酬審議会に諮問したところ改定の額及び時期とも適当であるとの答申を得たとのことではありますが、私たち議員の日常の活動がどのように評価されているのか、大変気にかかるところであります。率直に申しましてこの審議会においてはどのような意見が出されていたのか、御説明をいただきたいと思います。なお、答申は全委員の一致した意見でありますか、あわせてお答え願いたいと思います。

次に、議案第19号市道路線の認定、廃止及び変更についてお尋ねをいたします。質問は、議案の説明資料により行ってまいりたいと思います。市長の施政方針では、「生活に密着した道路及び河川の改良や整備を地域の実情に即して実施し、利便性、安全性の向上に努めてまいります」と述べております。生活に密着した道路の整備を進めるには、市道に積極的に認定していくことが必要だと思います。今回は新たに8路線を認定しようとするものでありますが、今後の認定予定路線はどのくらいありますか、お聞かせをいただきたいと思います。

次に、市道路線の認定に当たっては一定の基準をもとに積極的に認定していくことが必要と思うわけですが、この認定基準についてはどのようなお考えなのか、御説明をいただきたいと思います。

第3点目は、議案説明資料26ページをお開きいただきたいと思います。今回8040号線を認定しようとするものでありますが、この路線についてお尋ねをいたします。この路線は、現在でもかなりの通過道路となっております。しかも、道路が未舗装で整備されていないために砂ぼこりがひどく、うっかり洗濯物も干しておけないという状態でありました。今回認定にした後この道路の整備、舗装などのことについて急ぐ必要があると思うのでありますが、いかがお考えでありますか。

次に第4点、30ページであります。1173号線を今回認定部分を延長しようとすることで提案がされております。この1173号線に関しては、新興の住宅開発が進みました。しかし、この1173号線、車の行き交えない狭い道であるために、現在では住宅への唯一の進入路となっており、車が行き交えず立ち往生することたびたびであります。1173号線に接続する1172号線乃至は1174号線を整備を進めればこれらの問題を解決することができると思うのでありますが、1172号線、1174号線、これらの整備についてのお考えはありますか、お聞かせをいただきたいと思います。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎副議長（近藤好雄君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

報酬審議会の審議内容についての御質問でございますが、審議会では議員報酬並びに市長、助役、収入役の給料改定とその改定時期につきまして御審議をいただいたところでございます。審議会での内容、御意見を集約いたしますと、改定時期、改定額とも今までの経過、他市等の状況などを勘案し妥当であるが、むしろ額そのものよりそれぞれの立場で十分活動され、市のために御尽力をいただきたいとのことでございます。

次に、今後の認定予定路線の問題でございますが、これにつきましての御質問でございますが、現在のところ市道として認定できる基準を満たしておりながら認定されていない道路はございません。しかしながら、今後の道路改良事業や市街化に伴って路線の認定が生ずることも予想されます。

次に、認定基準についての御質問でございますが、現在市道の認定につきましては、1、原則として幅員4メートル以上のものであること。2、起点並びに終点が少なくとも幅員5メートル以上の国道、県道または市道に接していること、以上の2項目を基準としております。しかし、次に示す道路についても状況によりまして市道として認定しております。1、公共施設等に利用されている道路。2、家屋が連続し、また集落を結ぶ等利用度の高い道路。以上でございます。

次に、市道8040号線についての御質問でございますが、市道8040号線につきましては平成3年度に舗装並びに側溝整備を計画しております。

次に、市道1172号線について御質問でございますが、市道1172号線は将来整備をしなければならない路線として考えております。

以上でございます。

◎副議長（近藤好雄君） 11番神田議員。

◎11番（神田守隆君） 議案の第10号に関してであります。議員はそれぞれの立場でもっと市のために仕事をしていただきたい、額そのものについてということよりもむしろそういう議論だったということでもありますので、私らがどういうふうに受けとめていいのか、まだまだ住民の期待にこたえられないところもまだあるんだろうということで、率直にその点については受

けとめて我々も頑張らなきゃならないと思います。そこで、今の答申の内容については一応全委員の一致した意見だということで確認をしてよろしいですか、お聞かせいただきたいと思います。

それから、市道の認定に関しての問題ですが、認定の今後の予定路線については一応基準を満たしているものはないというようなお話でありましたけれども、私の知る限りではどうもそうでもないんじゃないかなということを感じるところも多々ありますので、これは具体的な路線の問題をめぐってまた別のところで議論もしていきたいと思っております。

それで、8040号線ですが、3年度に舗装、側溝整備というお話がございましたけれども、ここは率直に言いまして3年度といってもかなり4月から来年の3月まであるわけですが、ひとつ早い時期にここについては実施をする必要があるんじゃないか。極めて公共的な性格も強い道路だと思いますし、周辺住民の苦情ということもかなりあるやに聞いておりますので、その辺急いでいただきたいと思いますと思いますが、いかがですか。

◎副議長（近藤好雄君） 総務部長。

◎総務部長（二通英雄君） 特別職の報酬の引き上げの答申でございますけれども、全員一致でございます。

◎副議長（近藤好雄君） 経済部長。

◎経済部長（安西良一君） 市道の8040号線の整備の関係でございますが、これにつきましては時期といたしましては来年度の早い時期に行いたいというように考えております。

以上です。

◎副議長（近藤好雄君） 以上で11番議員神田守隆君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告しない議員で御質疑ありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎副議長（近藤好雄君） ただいま議題となっております議案第9号乃至議案第19号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり所管の常任委員会

に付託いたします。

議案の上程

◎副議長（近藤好雄君） 日程第3、議案第20号乃至議案第22号の各議案を一括して議題といたします。

質疑応答

◎副議長（近藤好雄君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

11番議員神田守隆君。御登壇願います。

（11番議員神田守隆君登壇）

◎11番（神田守隆君） 議案の第20号館山市一般会計補正予算（第5号）についてお尋ねをいたします。質問は、議案書に沿って行ってまいりたいと思います。

13ページをお開きいただきたいと思います。歳入で特別土地保有税が1億4,000万円増収ということになっております。市内の土地が大規模にたくさん売却された結果ではないかと思うのでありますが、その実態を示しているのがこの1億4,000万円の増収かと思うのであります。この1億4,000万円の増収の理由について御説明をいただきたいと思います。5,000平方メートルを超える土地の取引が何件あったのか、取引された土地の面積は総体的にどのくらいになるのか、またその取得価格は総額でどのくらいになるのか、それぞれ御説明をいただきたいと思います。

次に、16ページであります。16ページの土地の売却収入についてであります。3億9,585万7,000円予算に計上されておりますが、当初予算では全く計上されていなかったわけであります。今回約4億円もの土地を売却することによってありますが、この理由について御説明をいただきたいと思います。この件数は何件あるのか、そしてその売却理由はどのようなものなのか、御説明をいただきたいと思います。

次に、28ページであります。小学校費の中で教育振興費の備品購入費とい

うことで 133万 4,000円の減額補正が計上されております。校用器具費の減額補正でありますけれども、このこと自体については説明書により理解をいたします。お尋ねしたい点は、学校の教材備品の現状について——例えば那古の小学校では木琴がぼろぼろで壊さないように使うのに苦労するという状態がありました。こうした学校の教材備品の現状について教育長はどのように認識をされているのか、お聞かせをいただきたいと思います。

次に、30ページであります。土地開発基金に2億 3,712万 2,000円を繰り出そうとするものでありますが、公用もしくは公共用地等の土地の先行取得を進めるための基金であります。この基金は 6,000万円を定額とする基金と条例上なっておりますが、現時点で必要とする額についてどのくらい必要なものと考えておられるのか、お聞かせをいただきたいと思います。

次に、同じく30ページであります。財政調整基金積立金7億 4,613万 1,000円についてであります。今年度末で——一般行政質問での御答弁の中でも明らかになりましたが、残高が23億円になるとのことでありました。今後の大規模事業で多額の資金を必要とするのでそれに備えたいとの説明でありました。南房総広域水道企業団の出資金で50億 8,500万円、水道事業拡張事業で13億 4,200万円、西口区画整理事業で26億 3,500万円との説明がされました。これらの事業費のうち、一般財源から負担しなければならないと考えられる額はどのくらいと試算されておるのか、御説明をいただきたいと思います。

同じく30ページであります。土地取得費で普通財産購入費として 5,712万 4,000円計上されておりますが、普通財産として購入するとのことですが、一体どこの土地を購入するのか、御説明をいただきたいと思うのであります。最後に、今年度の一般会計の決算見込みについて、以上の補正予算を組んでなおかつ剰余金がかかなり見込めるものなのかどうか、この決算見込みについてのお考えをお聞かせいただきたいと思います。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎副議長（近藤好雄君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

第1点、特別土地保有税の増収の内容についての御質問でございますが、これは年度途中において件数にして11件、面積で99万 3,689平方メートル、取得価格48億 6,110万円の取得があったための増でございます。

次に第2点、財産売却収入についての御質問でございますが、内容につきましては館山バイパス関連及び館山駅西口地区土地区画整理事業の代替地として正木処理場跡地等を売却したもの9件、市有地隣接地主に売却したもの2件、県道拡張に伴い売却したもの1件でございます。

次に第3点、これは教育長から答弁いたします。

次に第4点、土地開発基金についての御質問でございますが、御承知のように土地開発基金は公用もしくは公共用に供する土地または公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るために設置されたものでございます。基金の適正規模についてでございますが、平成2年度末の残高見込みはおおよそ8億円となっており、現在行っている事業及び将来の事業執行を考慮いたしますと、今後繰り出す額は利子相当分を除くほか当面おおよそ2億円程度で、円滑な運営ができるのではなかろうかと考えております。

次に第5点、財政調整基金についての御質問でございますが、将来の財政需要につきましては補助採択の状況や補助率等不透明な部分があり確定はできませんが、現時点で予定されている大規模事業の一般財源ベースとしてはおおよそ上水道事業において32億円、館山駅西口地区土地区画整理事業で19億円、館山駅東口地区市街地再開発事業で13億円、ウェルネスリゾートパーク事業で19億円、都市計画道路川名大賀線整備事業で16億円程度が考えられ、そのほか用地取得費を含む公共下水道整備事業に多額の財源が必要とされているところでございます。

次に第6点、普通財産取得費についての御質問でございますが、これは土地開発基金で保有しておりましたコミュニティセンター隣接地1,237.67平方メートル、2筆を購入しようとするものでございます。

次に第7点、決算見込みについての御質問でございますが、歳入につつま

しては市税収入、特別交付税等の動向、歳出につきましては老人保健特別会計への繰出金等事業の執行状況によりかなり流動的でございますが、3月補正後の予算現額 129億 5,792万 1,000円に対し、決算余剰金はおよそ2億 4,000万円程度を見込んでおります。

以上でございます。

◎副議長（近藤好雄君） 教育長。

（教育長福原 修君登壇）

◎教育長（福原 修君） お答えいたします。

教育振興費の減額補正に絡む問題でございますが、各学校の教材等校用器具購入費につきましては各学校の学級数に応じて予算の積算を行っており、その枠の中で各学校の購入要望等を勘案しながら配当いたしております、また、教育上特に必要と思われる備品につきましては、これら一般校用器具費とは別に特別校用器具費として対処しておりますが、今後も学校の現状を調査してさらに必要と思われるものがあれば購入を検討してまいりたい、このように考えております。

終わります。

◎副議長（近藤好雄君） 11番神田議員。

◎11番（神田守隆君） 大体御答弁でおおむね了解をいたしましたけれども、土地開発基金の問題について約8億円という残高で、今後はあと2億円というようなお話、約10億円にしようということかと今の御答弁から伺えるわけなんですけども、もともとこの基金に関する条例では、6,000万円を定額とするという形になっているわけです。余りにもこの金額違うわけです。この土地開発基金のあり方、考え方という点ではいろんな考え方もしなきゃいけないかなというふうに思うんですが、率直に言ってどのように考えておられるのかもう少しお聞かせいただきたいと思います。私は議会の立場からいたしますと財産の取得に関しては一応予定価格を2,000万円を超えるという財産の取得はこれは議会の議決がなしには基本的にできない——土地が5,000平米以下であればという要件、それを超えますとそういうことになっておりますから、金額的には多額の土地開発基金を持つということは事実上議会

の議決をなしに先行取得ということで、本来だったら議会の議決を経て初めて取得するものが議会の議決なしに先行取得ということで開発基金が土地買収を進めていくことができるということで、そういう点では弾力的な運用ということにもなるんでありますけれども、しかし同時に基金の額については大規模な土地取得ですとか市政の上で重要な絡みの持つ問題については十分議会の監視のもとに置かなきゃならぬというのが法律の趣旨だろうと思うんですね、議会在議決しなければならぬってことになっているわけですから。そういう点から考えますと、いささかこの辺についての議論がどういふふうに考えるのか、余りにもこの基金を設定したときの額と現状とが離れちゃっている中でどのようにお考えになっているのか。確かに条例を子細に読みますと、予算で基金を積み増しをするということが認められれば 6,000万円にこだわらずどんどんふやしても構わないだとはなっていますけれども、しかしそもそもの出発点からすると今の金額というのはちょっと考えをはっきりさせなきゃいけないところにあるんじゃないかなと思うんです。その辺で議会の議決権という、こういう点からこの金額についてはどのようにお考えになっているのか、お聞かせをいただきたい。

また、行政の立場からすれば、確かに土地の取得をどんどん進めなきゃならぬということも大変私もよくわかります。そのことについても理解をしているつもりであります。しかし、議会のそうした議決がないがしろにされるようなことがあってもいけないわけですから、そこいらの調整といいますか、そういうことについてどのようにお考えになっているのか、お聞かせをいただきたいなと思います。

以上です。

◎副議長（近藤好雄君） 総務部長。

◎総務部長（二通英雄君） 近年事業用地の取得が困難ということで、事業用地のストックも減少しているような状況の中で計画的に公共用地を取得する、そういうことで、土地基本法及びこれに基づく施策の方針によりまして事業用地あるいは代替地の先行取得というものをやっているわけで、決して議会の軽視というようなことでやっているわけでございまして、事業を円

滑に進めるために買えるときに買うという趣旨から土地開発基金っていうものを設けてやっているわけですので、決して議会の軽視ということではやっているわけでもない。

◎副議長（近藤好雄君） 11番。

◎11番（神田守隆君） この問題についてはやはり大変複雑な問題があるんです。館山市もかつて——開発基金じゃありませんけども、開発公社が駅西口の土地の取得をした。これいわば先行取得でやったわけですが、その後裁判っていう問題になって非常にごたごたした経過があるんです。土地取得の問題っていうのは非常にいろんな問題を持つケースがあるわけで、それだけ慎重な対応が必要ですし、議会でのその点についての審議権という問題もそういうところから重要なこととしてあるわけで、この金額がどちらのお考えでなぜ——今のお話ですと10億っていうお話で、8億に2億ですか、10億っていうようなお話で、しかし議会が決めている基金条例では定額的には6,000万円と余りにも違うわけですよ、この条例をつくったときの想定とは、事態が。ですから、それだけの御答弁ではちょっと納得しかねるなと思うんです。実際に基金で取得した土地が議会の中で問題になって否決される、基金で取得した土地を今度市の財産として購入する場合にそれがごたごたいろんな問題があって議会で否決されるなんていう問題もあり得ないわけじゃないわけです。実際にそれに近いようなことがこの駅の西口問題であったわけですから、そういう点からしますと非常にこういう金額というのについて大きな問題点を持つんじゃないかなと思うんです。基金で取得した土地が実際には議会の議決で否決される、承認されないというような事態になったら、これはだれがどうやって責任とることになるんでしょうか。

◎副議長（近藤好雄君） 総務部長。

◎総務部長（二通英雄君） 資料ございませんので……。

◎副議長（近藤好雄君） 暫時休憩いたします。

午前10時37分 休憩

午前10時42分 再開

◎副議長（近藤好雄君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

総務部長。

◎総務部長（二通英雄君） 議会で否決された場合はどう責任とるかということでございますけども、議会にける場合の基準がございます。5,000平米以上あるいは2,000万以上については議会にかけるということで、それを前提にしておりますので、その分については事前にかけますので、そういうことはないというふうに考えております。

◎副議長（近藤好雄君） 以上で11番議員神田守隆君の質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりましたが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。――御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

委員会付託

◎副議長（近藤好雄君） ただいま議題となっております議案第20号乃至議案第22号の各議案は、お手元に配付の議案付託表のとおり所管の常任委員会に付託いたします。

請願書の上程

◎副議長（近藤好雄君） 日程第4、請願第32号朝鮮民主主義人民共和国との早期国交樹立促進方要望に関する請願書を議題といたします。

委員会付託

◎副議長（近藤好雄君） ただいま議題となりました請願第32号は、2月27日議会運営協議会開催までに受理したものであります。

お手元に配付の請願付託表のとおり所管の常任委員会に付託いたします。

議長の報告

◎副議長（近藤好雄君） なお、この際申し上げます。

2月27日議会運営協議会開催までに受理した陳情書は、お手元に配付の陳情送付表のとおり所管の常任委員会に付託しましたので、御報告いたします。

延 会 午前10時45分

◎副議長（近藤好雄君） 本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。
これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎副議長（近藤好雄君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて
延会することに決しました。

次会は明12日午前10時開会とし、その議事は平成3年度各会計予算の審議
といたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 議案第8号乃至議案第22号
- 1 請願第32号

